

尖閣問題での中国外相発言

日本側に責任転嫁する 傲岸不遜（ごうがんふそん＝「おごりたかぶって人を見下すような」などの意味）な暴言

共産党・志位委員長批判



日本共産党の志位和夫委員長は11月26日の記者会見で、日中外相会談後の共同記者会見（24日）で中国の王毅（おう・き）外相が、日本が実効支配する沖縄県尖閣諸島周辺での中国公船による主権侵害の行為の責任を日本側に転嫁する発言を行ったことを示し、「驚くべき傲岸（ごうがん）不遜な暴言だ。絶対に許してはならない」と厳しく批判しました。

志位氏は、「尖閣諸島周辺の緊張と事態の複雑化の最大の原因は、日本が実効支配している領土・領域に対し、力づくで現状変更をしようとしている中国側にある。この中国側の覇権主義的な行動が一番の問題だ」と指摘。「王毅外相の発言は、“日本側に問題があったから、やむを得ず中国として対応をしている”と日本側に責任を転嫁するものだ」と批判しました。

その上で、志位氏は、共同記者会見に同席した茂木敏充外相は王外相に何ら反論や批判もしなかったとして、「中国側の不当で一方的な主張だけが（記録に）残るという事態になる。極めてだらしのない態度だ」と批判。また、直後に王外相と会談した菅義偉首相が王外相の暴言についてただした形跡もないとして、「覇権主義にモノも言えない屈従外交でいいのか」と厳しく批判しました。

志位委員長の記者会見の動画は→
（尖閣問題は開始約8分後から）



中国の外相の発言

★一部の真相をよく知らない日本の漁船が絶え間なく釣魚島（尖閣諸島）の周辺の敏感な水域に入っている。これに対して中国側はやむをえず必要な反応をしなければならぬ（24日共同記者会見）

対する日本政府の態度

★その場で反論せず（茂木外相）
★直後の会談で暴言をただした形跡なし（菅首相）

平和と安定へどんな堂々とモノを言う政治に!! 大国にも

日中両国が尖閣諸島を含む東シナ海を真に平和・友好・協力の海にしていく上でも、“間違いは間違いだ”ときちんと言うべきです。国際法にのっとった批判を正々堂々としていくことが、平和と安定にとって大事だからです。そうした政治の実現へ全力をあげます。



参議院議員（東京選挙区選出）

やまぞえ・たく

山添 拓

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2020年11・12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

尖閣問題での中国外相発言

日本側に責任転嫁する 傲岸不遜（ごうがんふそん＝「おごりたかぶって人を見下すような」などの意味）な暴言

共産党・志位委員長批判



日本共産党の志位和夫委員長は11月26日の記者会見で、日中外相会談後の共同記者会見（24日）で中国の王毅（おう・き）外相が、日本が実効支配する沖縄県尖閣諸島周辺での中国公船による主権侵害の行為の責任を日本側に転嫁する発言を行ったことを示し、「驚くべき傲岸（ごうがん）不遜な暴言だ。絶対に許してはならない」と厳しく批判しました。

志位氏は、「尖閣諸島周辺の緊張と事態の複雑化の最大の原因は、日本が実効支配している領土・領域に対し、力づくで現状変更をしようとしている中国側にある。この中国側の覇権主義的な行動が一番の問題だ」と指摘。「王毅外相の発言は、“日本側に問題があったから、やむを得ず中国として対応をしている”と日本側に責任を転嫁するものだ」と批判しました。

その上で、志位氏は、共同記者会見に同席した茂木敏充外相は王外相に何ら反論や批判もしなかったとして、「中国側の不当で一方的な主張だけが（記録に）残るという事態になる。極めてだらしのない態度だ」と批判。また、直後に王外相と会談した菅義偉首相が王外相の暴言についてただした形跡もないとして、「覇権主義にモノも言えない屈従外交でいいのか」と厳しく批判しました。

志位委員長の記者会見の動画は→
（尖閣問題は開始約8分後から）



中国の外相の発言

★一部の真相をよく知らない日本の漁船が絶え間なく釣魚島（尖閣諸島）の周辺の敏感な水域に入っている。これに対して中国側はやむをえず必要な反応をしなければならぬ（24日共同記者会見）

対する日本政府の態度

★その場で反論せず（茂木外相）
★直後の会談で暴言をただした形跡なし（菅首相）

平和と安定へどんな堂々とモノを言う政治に!! 大国にも

日中両国が尖閣諸島を含む東シナ海を真に平和・友好・協力の海にしていく上でも、“間違いは間違いだ”ときちんと言うべきです。国際法にのっとった批判を正々堂々としていくことが、平和と安定にとって大事だからです。そうした政治の実現へ全力をあげます。



ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2020年11・12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党